

ミシュスチン首相による択捉島訪問

外務省欧州局
令和3年7月

1 概要

- (1) 日本時間7月26日11時頃、ミシュスチン首相が択捉島を訪問。「クリル地区」中央病院（紗那）及び水産加工工場（内岡）を視察し、医師や従業員との面会を実施。
- (2) ミシュスチン首相の北方領土訪問は、昨年1月の首相就任後初めて（メドヴェージェフ前首相は、大統領時代も含め通算4回北方領土を訪問。）。トルトネフ副首相、コズロフ天然資源環境大臣、ムラシュコ保健大臣、シュリギノフ・エネルギー大臣等が同行。
- (3) 水産加工工場視察の際に、①択捉島におけるLNG供給のためのインフラ整備、②「クリル諸島」における「自由関税領域体制」を含む課税優遇措置の導入可能性等について言及。



【病院視察】



【水産加工工場視察】

2 日本政府としての対応

- (1) 7月20日（欧州局参事官→在京ロシア大使館次席、在モスクワ日本大使館政務公使→ロシア外務省局次長）及び24日（欧州局長→駐日大使）、東京及びモスクワにおいて訪問を行わないよう申入れ。
- (2) 26日、択捉島到着確認後、同日に森外務事務次官がガルージン駐日大使を召致し、ロシアの現職の首相による択捉島訪問は、北方領土に関する日本の一貫した立場と相容れず、また日本国民の感情を傷つけるものであり、極めて遺憾であるとして抗議。また、モスクワにおいても、モルグロフ外務次官とのアポの際、上月駐露大使から同様に抗議。モルグロフ次官は、ロシアに対する領土的要求の文脈において日本政府によって最近とられている非友好的措置に関する断固とした抗議を表明。
- (3) 日本側の立場に関し、外務大臣談話（別添）を发出。

（参考）今回の訪問に先立って行われたプーチン大統領によるミシュスチン首相に対する発言（7月23日、露安全保障会議の席上）

「（ミシュスチン首相の極東訪問に際し、）『クリル』諸島における状況に特別な注意を払うようお願いしたい。」

「我々は、日本のパートナーたちと長い間、経済活動の参加者のために不可欠な条件を作り出すための作業を実施している。良い下準備があり、あなたが有している提案は非常に良い。」

「我々が話したことは、全く独特で、前例のない性格を有していると言える。あなたの訪問と現地の状況の評価の後、我々がこれらの提案を最終的に形にし、そして、それらを必ず実現することを期待している。」

令和3年7月26日

ミシュスチン露首相の択捉島訪問

- 1 本日（26日）、ミハイル・ウラジーミロヴィチ・ミシュスチン・ロシア首相が択捉島を訪問したとの報に接しました。
- 2 このような訪問は、北方領土に関する日本の一貫した立場と相容れず、また日本国民の感情を傷つけるものであり、極めて遺憾です。
- 3 戦後、ソ連／ロシアとの間では、70年以上を経た現在でも領土問題が未解決であり、精力的に平和条約交渉が行われており、昨年9月の日露首脳電話会談で、両首脳は、2018年11月のシンガポールでの首脳会談で「1956年宣言を基礎として平和条約交渉を加速させる」ことで合意したことを改めて確認しています。そうした中、ロシアの首相が北方領土を訪問したことは、我が国として受け入れられず、日露関係に資するものではありません。
- 4 ロシア側には、北方四島における共同経済活動を含め、平和条約締結交渉の進展に向け、日露関係の前進のために建設的に対応するよう強く求めています。

北方領土におけるロシアの主な活動

光ファイバーケーブルの敷設
(択捉島、国後島、色丹島)
2018年頃～順次接続開始

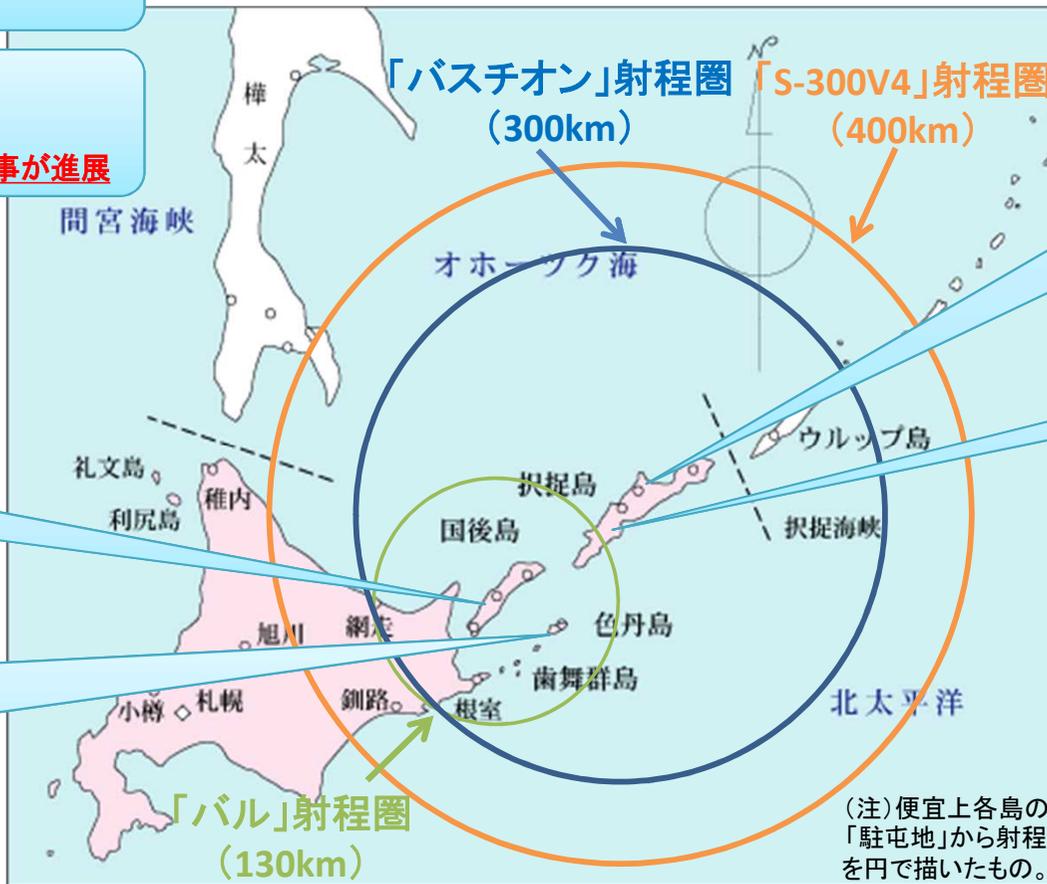
道路の舗装
(択捉島、国後島、色丹島)
2011-12年頃～順次延伸計画・工事が進展

【国後島】

東佛(「メンデーエヴォ」)空港
(軍民共用) 2013年改修完了

【色丹島】

水産加工工場の建設
2019年9月完成
ヘリポートの建設
2010年完成



【択捉島】

択捉新空港(「ヤースヌイ」空港)
(軍民共用) 2014年9月完成、開港

天寧(「ブレヴェスニク」)空港
(軍民共用)

択捉島への地対空ミサイルシステム配備



地対空ミサイルシステム「S-300V4」
(2020年12月に択捉島に配備)
(※) 国後島配備に言及する報道もあり。

【北方領土におけるロシア軍】

- ロシアは、旧ソ連時代の1978年以來、北方領土に地上軍部隊を再配備。
- ピーク時に比べ規模は大幅に縮小した状態にあると考えられるものの、現在も1個師団が国後島と択捉島に駐留(戦車、装甲車、各種火砲、対空・対艦ミサイル等を配備)。

国後島・択捉島への地対艦ミサイル配備



地対艦ミサイル「バル」
(2016年に国後島に配備)



地対艦ミサイル「バステオン」
(2016年に択捉島に配備)

択捉島への戦闘機配備



多目的戦闘機「Su-35」
(2018年に択捉島に配備)

北方四島における主なインフラ整備状況

各島共通

- ・光ファイバーケーブルの敷設
(択捉島、国後島、色丹島)
- ・サハリン島ー択捉島・国後島・色丹島間を運航する貨客船の建造

- ・ディーゼル発電所
- ・深水型埠頭
- ・水産加工工場「ヤースヌイ」

択捉島

- ・ディーゼル発電所

- ・択捉空港(「ヤースヌイ」空港)

- ・車道舗装
(紗那～別飛)

- ・車道舗装
(天寧空港～紗那)

なよか
内岡

べつとぶ
別飛

しゃな
紗那

てんねい
天寧

- ・天寧(「プレヴェスニク」)空港

- ・給水システム
- ・排水システム
- ・「クリル地区」中央病院
- ・文化・スポーツ会館
- ・幼稚園
- ・ガソリンスタンド

- ・給水システム
- ・排水システム
- ・水産加工工場「レイドヴォ」
- ・外来患者診療所
- ・幼稚園

北方四島における主なインフラ整備状況

